

治山事業によるICTの活用

実証期間：2021年（令和3年）4月～2024年（令和6年）3月

産業



安平町
占冠村

目的

「治山事業におけるICT等活用の取組方針（案）」を策定することで、治山事業の施工における生産性向上及び労働環境の改善を図る。

背景・課題

災害の多発化・激甚化に伴い、治山工事の事業量や難工事の増加が見込まれる一方で、技能労働者の高齢化などによる労働力の減少が懸念されることから、急峻狭隘地という特殊性がある治山事業施工地に適したICTや軽量資材などを活用した施工省力化の試行を行うもの

事業のポイント



立木が多い山地におけるICT活用

期待される効果



生産性の向上
労働環境の改善

推進体制

試行工事受注者
WG（治山課、関係（総合）振興局）

概要

国の補助事業を活用し、荒廃山地の復旧対策を行う箇所において、効果的・効率的な治山対策の推進に資するICT等新技术導入を行う。令和3年は、占冠村と安平町において「ICT建設機械による土工」「UAVによる資材運搬」「UAVによる緑化」を実施。

ICT建設機械による土工



UAVによる資材運搬



UAVによる緑化



	R3	R4	R5	R6
対象現場	<ul style="list-style-type: none"> 省力化施工の提案 ICT機械施工等の試行 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機械施工等の試行（試行結果報告・改善提案） 	<ul style="list-style-type: none"> ICT機械施工時の試行 	<ul style="list-style-type: none"> （R4試行改善事項を反映）
WG	<ul style="list-style-type: none"> 試行する省力化施工選定 機械保有状況等の調査 委託業務の課題検討 	<ul style="list-style-type: none"> 試行結果の評価・検討 	<ul style="list-style-type: none"> 試行結果の評価 治山事業におけるICT技術等 	<ul style="list-style-type: none"> 活用取組方針の策定

事業費

（ICT施工以外の事業費も含む）
占冠村 5,400万円 安平町 5,000万円

担当者より

ICT施工のほか、資材軽量化の試行など、生産性向上及び労働環境改善に向けた取組をR4以降も引き続き実施します
【北海道水産林務部林務局治山課治山計画係（011-204-5509）】